

令和7年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	高根沢町			代表者名	神林 秀治
担当者部署(属性)	情シス担当	担当者部署名	企画課	連絡先電話番号	028-675-8102
担当者役職	係長	担当者氏名	福田 三恵	連絡先E-mail	
住所	329-1229 栃木県高根沢町大字石末2053番地				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署	
担当者氏名		連絡先電話番号	
		連絡先E-mail	

1-3. 支援を求める内容

支援方法	具体的課題への支援	事業名	DX推進計画（ビジョン）の策定と推進
概要	DX推進計画（ビジョン）の策定支援をお願いしたい。（課題の整理方法、町民・職員に理解されやすい目標の設定、資料の作成支援）また、職員へ意識醸成のためのDX研修をお願いしたい。		
支援を求める分野	計画策定支援 AI活用		

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	有	530	令和7年8月1日	支援・助言	オンライン
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和7年7月23日	支援・助言(オンライン)	13時00分	15時00分	
				活動時間（分）	120
2-2. 派遣場所	会場名	オンライン	最寄駅	オンライン	
	所在地	オンライン	最寄駅からの交通手段	オンライン	

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	佐藤 泰格
評価	大変良い
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	<ul style="list-style-type: none">当町の特徴に合わせた取り組みやすいDX推進計画の素案を作成して下さったところ。細やかなヒアリングをもとに、助言をくださる所。疑問に対して、非常に分かりやすい言葉を選んで助言して下さるので、理解しやすい所。先生からの一方的な意見ではなく、対話により目指すべき目標を助言くださる所。
アドバイザーへの要望事項	引き続き、計画策定に向けた助言と、課題解決のための助言をお願いしたいです。また、なるべく多くの職員にDXに関する知識をご指導いただきたいと思っています。

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	合計人数	6人		
	属性	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
	人数	6			

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	本町は、人口3万人以下、職員数200名程度の小規模の自治体であり、職員の多くは多様な仕事を兼務で行っております。そのため、情報システム担当者も、広報・HP・情報セキュリティ・情報システム・統計などの業務を担当しており、DXについて、本腰を入れて理解を深めることも町の課題の整理を行うこともままならない状況です。また、DX推進計画（ビジョン）がないため、各課において目標・目的をもって活動をすることができず、組織内でバラバラにデジタル化が進んでいます。DX推進計画を定め、各職員が自発的に柔軟な思考で動けるような環境づくりを目指したいと考えていますが、本町の規模に適したDX推進計画をどのように策定したらよいか分からず、課題となっています。
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	DX推進計画を策定し、町民と職員がDXによって目指す町の姿がイメージできるようなビジョンを発信する（達成見込み時期：令和7年10月）。計画達成に向けて町が一丸となり、職員がそれぞれの立場で試行錯誤することによって、業務がバランスよく効率的に進められるようになり、町民がDX推進による無駄の少ない質の高いサービスを等しく受けられるようになることと、職員と町民一人ひとりの「主観的なウェル・ビーイング」の実現を目標としたい。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	<ul style="list-style-type: none"> ・前回のヒアリングをもとに、DX推進計画の素案を作成いただきました。 ・素案について、一つ一つ説明と確認を行いながら本町のもとめる形にブラッシュアップいただきました。 ・次回支援までに、庁内で検討するよう、ポイントを教えていただきました。 ・住民課窓口に対するオンライン申請実現に向けての進め方、手数料検討方法、電話DXの例など助言いただきました。 	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	<ul style="list-style-type: none"> ・住民課窓口担当は、前回受けた支援から計画した内容の助言を受け、実行に向けたスケジュールを立てることができた。また、電話DX関係ツールについて知ることができた。 ・DX推進計画について、どこから手をつけたらよいのか全く分からなかったが、素案をいただき、完成のイメージを作ることができた。 	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑦その他
	DX推進計画素案	
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	DX推進計画の素案を頂いたので、庁内の意見を追加し、次回の助言を頂ける時までに町側で確認する。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)	
	アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 助言を職員が受ける場でしたので、アンケートは行っていません。	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
4-4. 事業の最終的な目指す姿	DX推進計画を策定し、町民と職員がDXによって目指す町の姿がイメージできるようなビジョンを発信する。計画達成に向けて町が一丸となり、職員がそれぞれの立場で試行錯誤することによって、業務がバランスよく効率的に進められるようになり、町民がDX推進による無駄の少ない質の高いサービスを等しく受けられるようになることと、職員と町民一人ひとりの「主観的なウェル.ビーイング」の実現を目標としたい。	

5. 報告書に関する地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
------	---------------------------

<https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/>

なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG等)」を数枚程度貼り付けて下さい。

